

# 「東大卒業生のキャリアに関する調査」基礎的分析結果 I

## 【主な結果】

### 1. 仕事について

- ・東大卒女性の大半が働いており、最高齢世代（1970年以前生まれ、調査時点で52歳以上）を除いて就労率に男女差はない。
- ・雇用形態は大半が正社員で、最若年世代（1991年以降生まれ、調査時点で31歳以下）では男女差はないが、1971～1980年生まれ世代（42～51歳）および1981～1990年生まれ世代（32～41歳）では女性の方が非正規と自営業主・自由業者がやや多く、男性では経営者・役員がやや多い。最高齢層では男性の経営者・役員がさらに多い。
- ・役職は1981～1990年生まれ世代で、女性の方が「役職なし」が明確に多い。
- ・収入はすべての世代で男性が女性よりも平均額が多い。
- ・職種は女性は高齢層になるほど専門職が多く、若年層ほど事務職が多い。男性は若年の2世代では技術職が多いが、高年の2世代では管理職が多い。
- ・すべての世代で女性の約3割が女性であることにより仕事上の不利さを感じているが、女性の過半数は東京大学卒の学歴が役に立っていると感じている。

### 2. 家庭について

- ・高年の2世代では男性の方が有配偶率が高いが、若年の2世代では男女間に差はなく、1981～1990年生まれ世代では女性の7割以上が配偶者がいる。この割合は日本の女性全体と比較してもやや高い。
- ・配偶者がいる女性の中で、配偶者も東大卒であるケースが36%を占める。この割合は、最高齢層を除いて若い世代ほど上昇している。男性の中で配偶者も東大卒である割合は約5%。
- ・配偶者がいる男性の中で、約3割は配偶者が専業主婦であり、その割合は高齢世代ほど大きい。
- ・既婚者の有子率には各世代内で男女差は小さい。
- ・女性の方が父学歴・母学歴が高い傾向があり、それは高齢世代ほど顕著であるが、最若年世代では男女間の親学歴の差は小さくなっている。

### 3. 女性の経験

- ・女性の中で、東大入学前および卒業後に、東大にかかわってネガティブな経験をした割合は、総じて高齢世代ほど多い。最若年世代でも、学歴を隠すなどの経験は7割を超える。

### 4. 東京大学での経験

- ・東京大学在学中の経験への評価は総じて高いが、女性の学生や教員が少ないことの居心地の悪さやハラスメントに関する経験には明確な男女差がある。

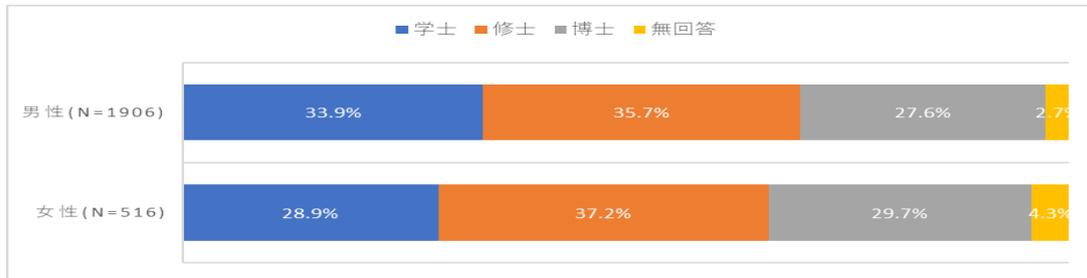
➤ 調査概要

- ・実施者：東京大学大学院教育学研究科教授 本田由紀
- ・実施方法：ウェブアンケート調査
- ・調査対象：東京大学社会連携本部卒業生部門がメールマガジンを配信している卒業生約 60000 名
- ・調査期間：2022 年 11 月 9 日～2023 年 1 月 31 日
- ・回答数：2437（男性 1906、女性 516、性別無回答 15／日本国籍 2357）

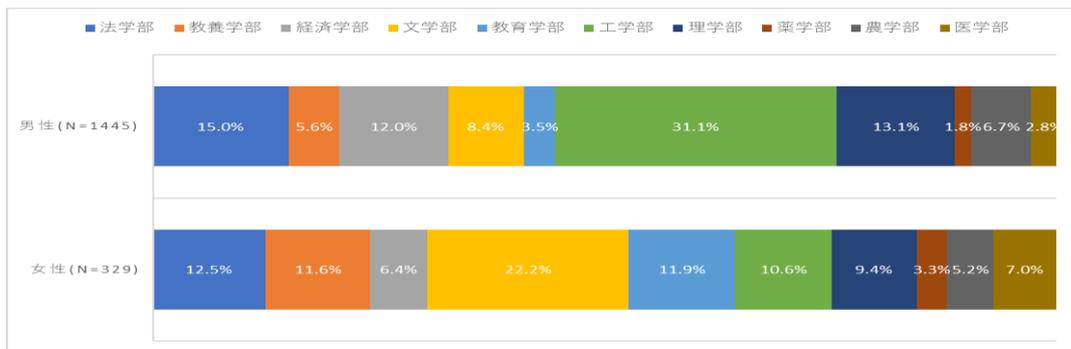
回答者の構成（性別・在籍した東大の課程別）

	東大学部○	東大学部○	東大学部○	東大学部×	東大学部○	東大学部×	東大学部×	その他	合計
	東大修士○	東大修士○	東大修士×	東大修士○	東大修士×	東大修士○	東大修士×		
	東大博士○	東大博士×	東大博士○	東大博士○	東大博士×	東大博士×	東大博士○		
男性	213	326	10	47	899	298	105	8	1906
(%)	11.2	17.1	0.5	2.5	47.2	15.6	5.5	0.4	100.0
女性	46	75	9	29	199	108	45	5	516
(%)	8.9	14.5	1.7	5.6	38.6	20.9	8.7	1.0	100.0
性別無回答	1	3	0	0	7	3	1	0	15
(%)	6.7	20.0	0.0	0.0	46.7	20.0	6.7	0.0	100.0
性別計	260	404	19	76	1105	409	151	13	2437
(%)	10.7	16.6	0.8	3.1	45.3	16.8	6.2	0.5	100.0

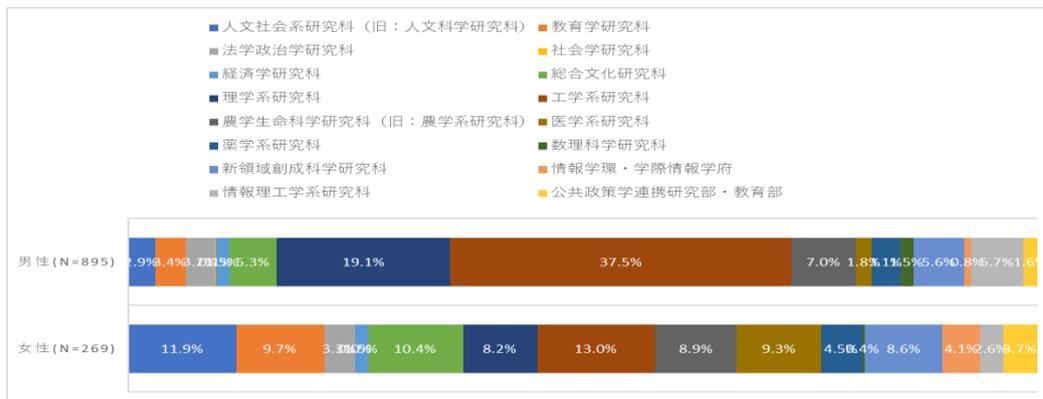
取得学位



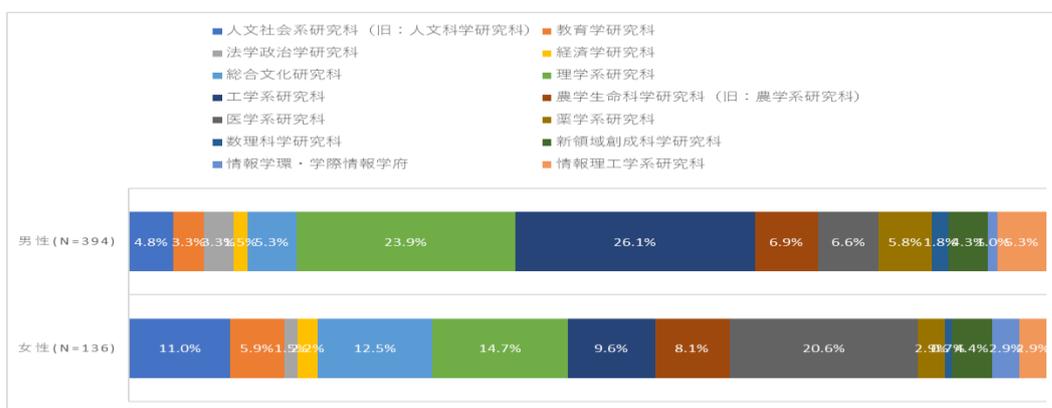
卒業学部（東大学部卒業生）



## 修了研究科（東大修士修了者）

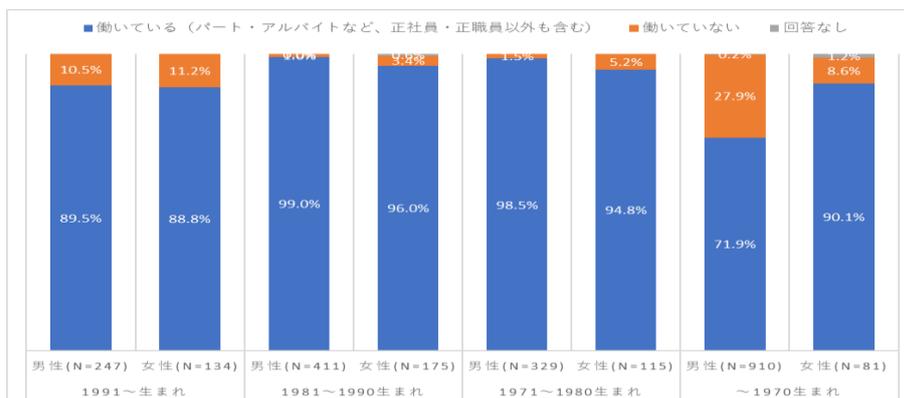


## 修了研究科（東大博士修了者）



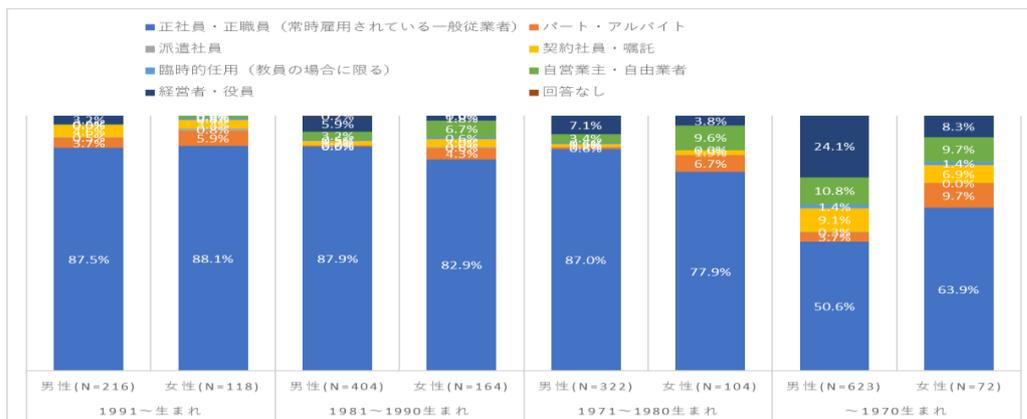
## 1. 仕事の状況

### 1.1 働いているか



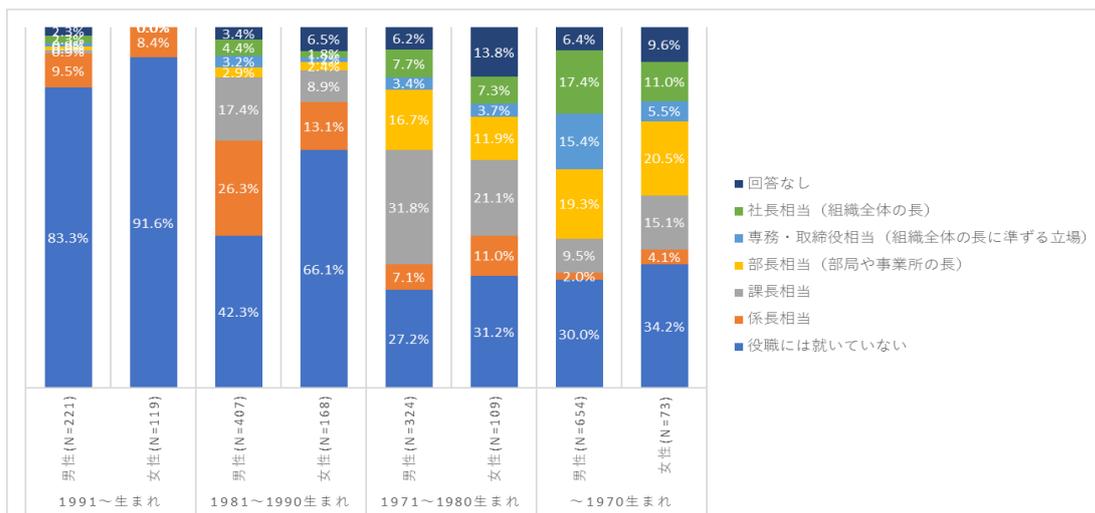
※「～1970 生まれ」グループで就労率に差があるのは、女性が男性よりも平均で7歳若いことによる。それ以外のグループでは性別間で就労率の差はない。

## 1.2 就労者の雇用形態



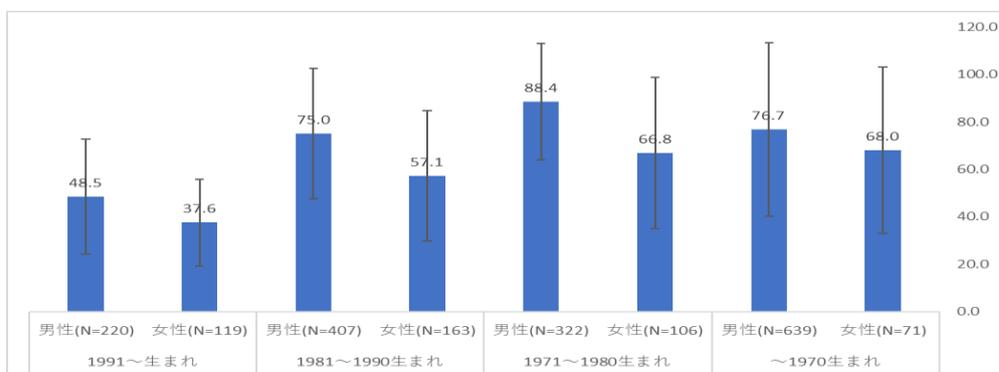
※「1991～生まれ」グループ以外では有意差あり。

## 1.3 就労者の役職



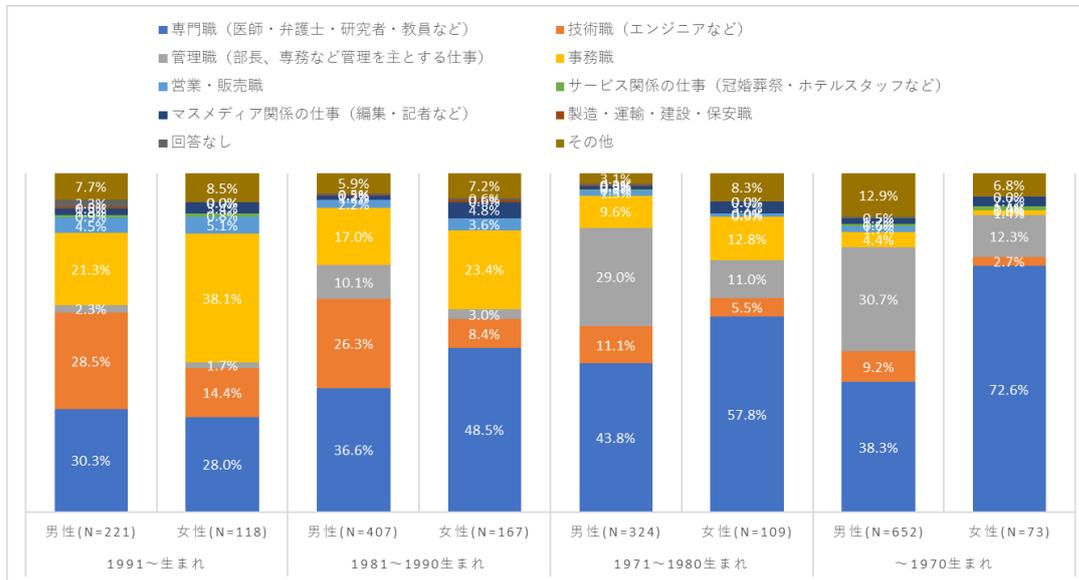
※「1981-1990 生まれ」グループで明確な有意差あり。

## 1.4 就労者の月収 (万円)



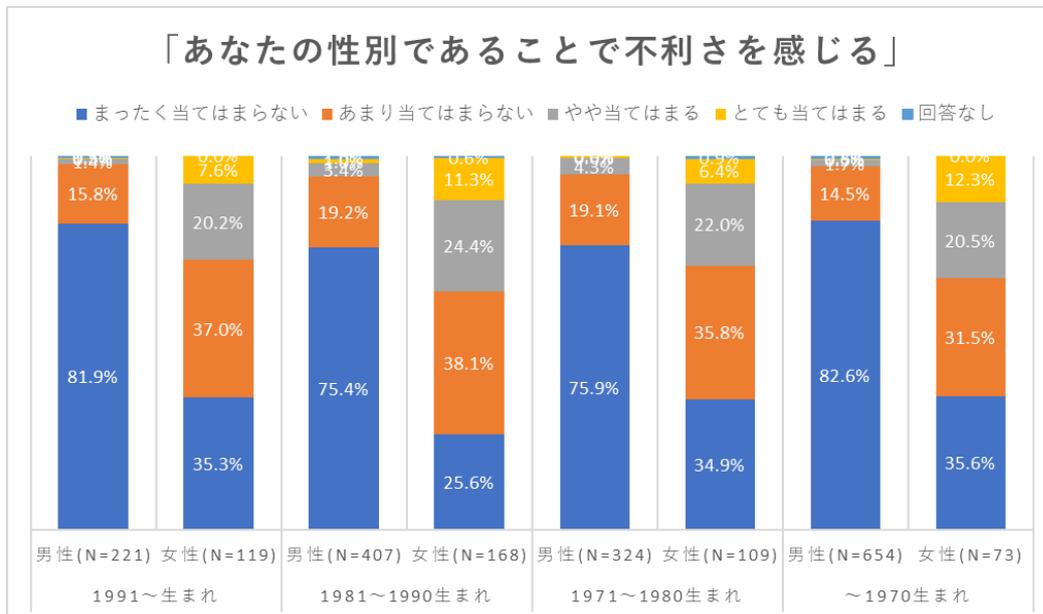
※全ての生まれ年グループで性別間に有意差あり。

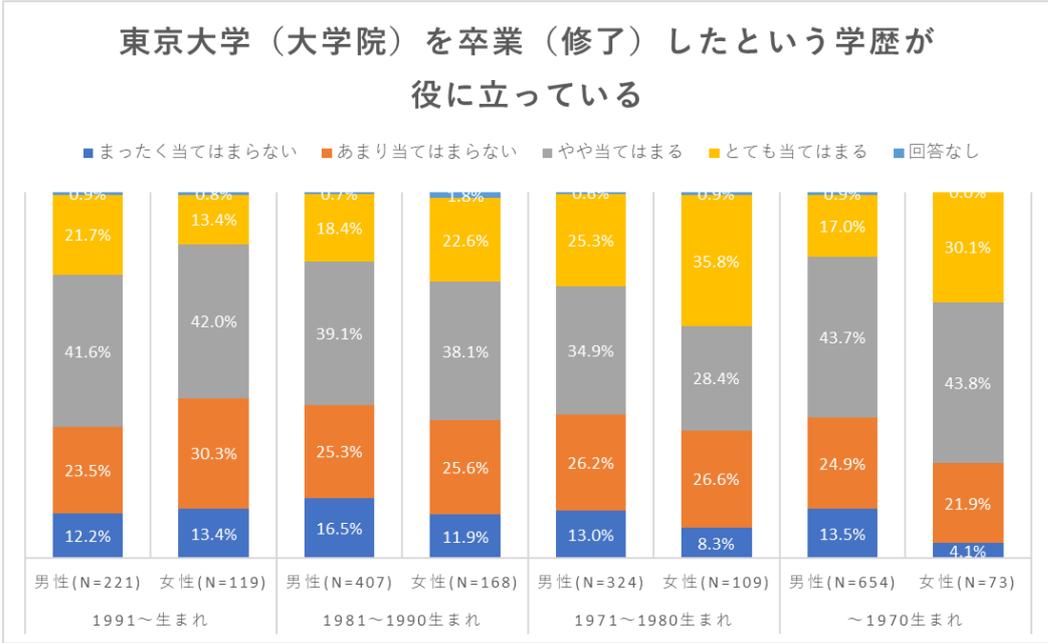
## 1.5 職種



※すべてのグループで有意差あり。

## 1.6 仕事上の有利さ・不利さ

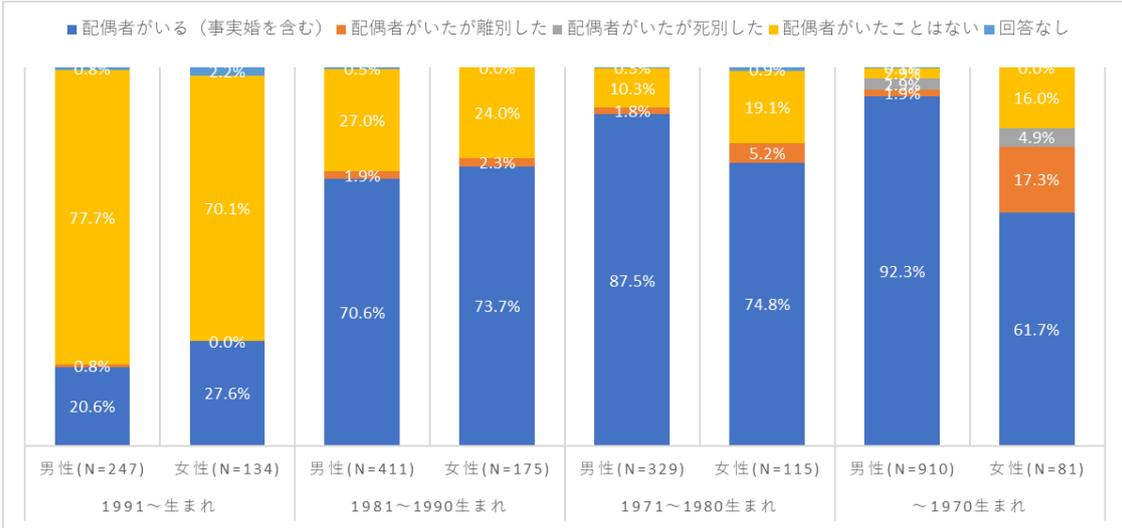




※「～1970 生まれ」グループのみ有意差あり。

## 2. 家庭の状況

### 2.1 婚姻状況



※「1991～生まれ」「1981～1990 生まれ」は有意差なし。

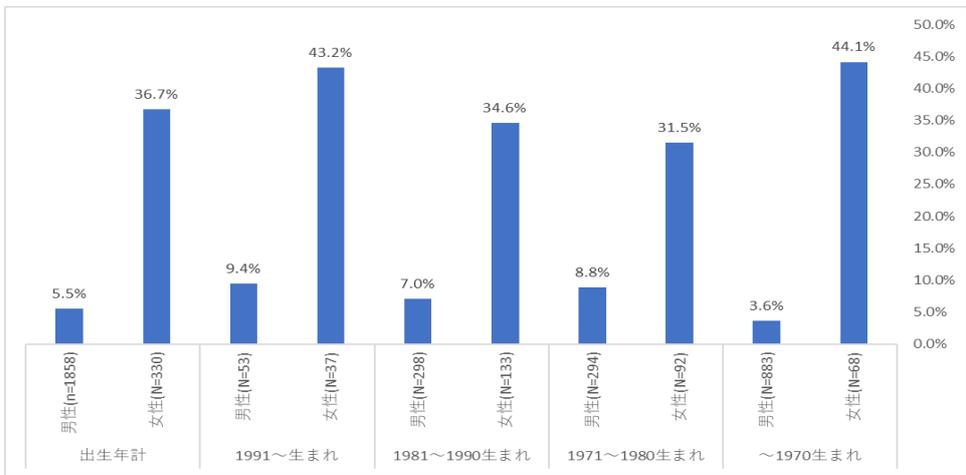
(参考)

(1) 未婚											(%)
年齢	1920年	1930年	1950年 <sup>1)</sup>	1960年 <sup>1)</sup>	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2015年*	2020年*
男											
総数 <sup>2)</sup>	29.3	32.3	34.3	34.8	32.4	28.6	31.4	32.1	31.9	33.4	34.6
15～19	97.2	99.0	99.5	99.8	99.3	99.7	99.7	99.5	99.7	99.6	99.7
20～24	70.9	79.6	82.9	91.6	90.1	91.8	93.6	92.9	94.0	95.3	95.7
25～29	25.7	28.7	34.5	46.1	46.5	55.2	65.1	69.4	71.8	74.6	76.4
30～34	8.2	8.1	8.0	9.9	11.7	21.5	32.8	42.9	47.3	49.8	51.8
35～39	4.1	3.9	3.2	3.6	4.7	8.5	19.1	26.2	35.6	37.3	38.5
40～44	2.8	2.4	1.9	2.0	2.8	4.7	11.8	18.7	28.6	31.9	32.2
45～49	2.3	1.8	1.5	1.4	1.9	3.1	6.8	14.8	22.5	27.4	29.9
50～54	2.0	1.5	1.4	1.1	1.5	2.1	4.4	10.3	17.8	22.1	26.6
55～59	1.8	1.4	1.2	1.0	1.2	1.6	3.0	6.1	14.7	17.7	21.6
60～64	1.7	1.2	1.2	0.9	1.0	1.2	2.0	3.9	10.3	14.8	17.3
65～69	1.5	1.0	1.3	0.9	0.9	0.9	1.4	2.6	6.1	10.3	14.1
70～74	1.5	0.9	1.4	0.9	0.9	0.8	1.0	1.7	3.8	6.0	9.6
75～79	1.4	0.9	2.0	1.0	0.9	0.7	0.8	1.2	2.4	3.6	5.2
80～84	1.2	0.7	} 2.0	1.0	1.1	0.7	0.7	0.9	1.6	2.2	3.0
85歳以上	1.5	0.7		1.1	1.2	0.7	0.7	0.8	1.0	1.3	1.6
女											
総数 <sup>2)</sup>	18.7	21.2	25.7	26.9	24.9	20.9	23.6	23.9	23.3	24.1	24.8
15～19	82.3	89.3	96.6	98.6	97.9	99.0	99.3	99.1	99.4	99.4	99.6
20～24	31.4	37.7	55.3	68.3	71.7	77.8	86.0	88.0	89.6	91.8	93.0
25～29	9.2	8.5	15.2	21.6	18.1	24.0	40.4	54.0	60.3	63.2	65.8
30～34	4.1	3.7	5.7	9.4	7.2	9.1	13.9	26.6	34.5	36.6	38.5
35～39	2.7	2.4	3.0	5.5	5.8	5.5	7.5	13.9	23.1	25.5	26.2
40～44	2.1	1.8	2.0	3.2	5.3	4.4	5.8	8.6	17.4	20.5	21.3
45～49	1.9	1.6	1.5	2.1	4.0	4.5	4.6	6.3	12.6	17.1	19.2
50～54	1.7	1.4	1.2	1.7	2.7	4.4	4.1	5.3	8.7	12.7	16.5
55～59	1.5	1.3	1.2	1.3	2.0	3.5	4.2	4.3	6.5	8.8	12.2
60～64	1.4	1.1	1.2	1.1	1.6	2.4	4.2	3.9	5.5	6.6	8.5
65～69	1.4	1.0	1.3	1.0	1.3	1.7	3.4	4.0	4.5	5.6	6.4
70～74	1.4	0.9	1.3	1.0	1.1	1.3	2.3	4.0	4.0	4.6	5.4
75～79	1.4	0.8	1.5	1.1	1.1	1.0	1.7	3.3	4.0	4.1	4.4
80～84	1.3	0.7	} 1.2	1.0	1.0	0.9	1.3	2.3	4.1	4.0	3.9
85歳以上	1.4	0.7		0.9	1.0	0.7	1.0	1.6	2.9	3.6	3.8

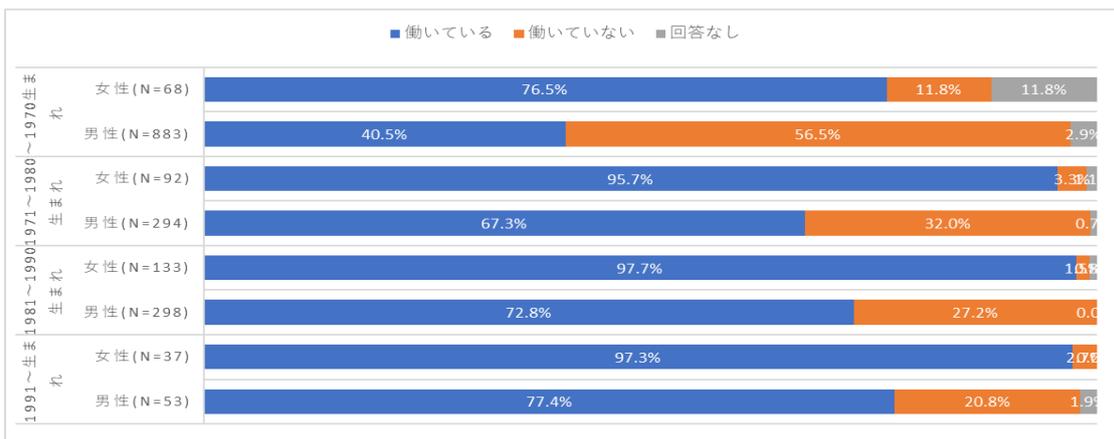
総務省統計局『国勢調査報告』による。年齢別人口（配偶関係不詳を除く）に占める割合。\*配偶関係不詳補完結果に基づく。  
1) 沖縄県を含まない。2) 15歳以上。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2022年版

## 2.2 配偶者が東大卒（大学院を含む）かどうか



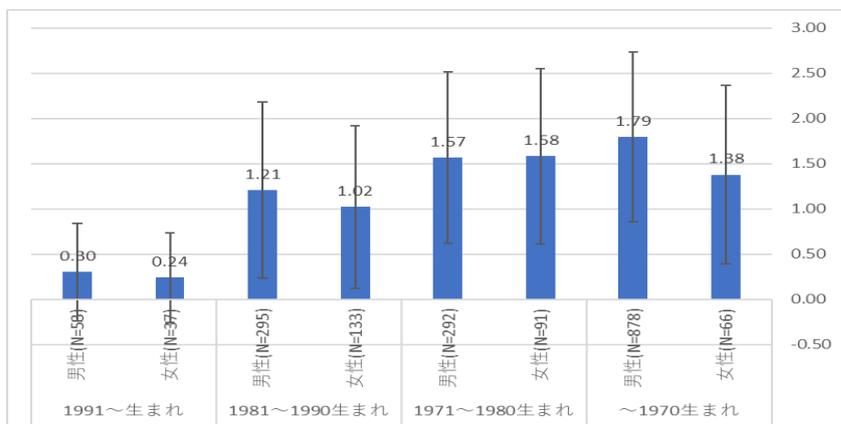
## 2.3 配偶者の就労状態



## 2.4 既婚者の子ども数



## 子ども数（平均）



(参考)

表4-24 妻の年齢（5歳階級）別平均出生児数：1977～2015年

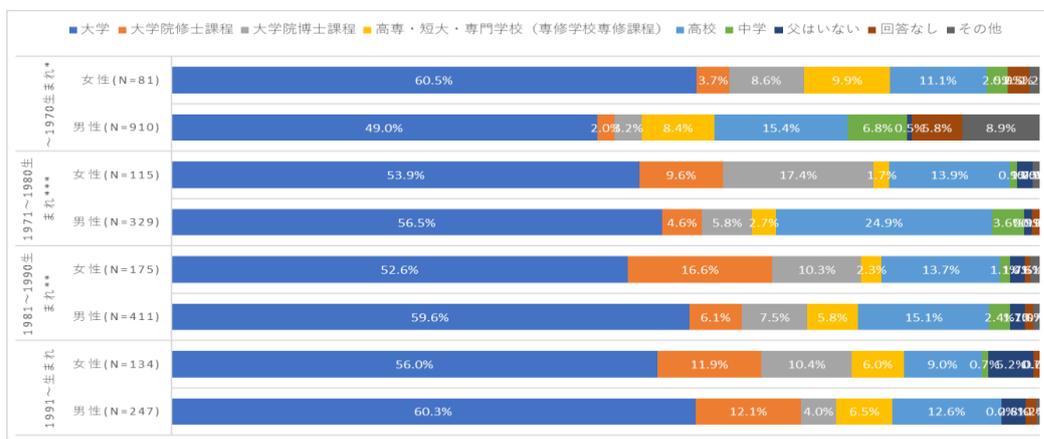
年次	(調査回)	総数	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1977	(第7回)	1.89	0.73	1.35	1.99	2.15	2.19	2.33
1982	(第8回)	1.93	0.50	1.28	1.99	2.16	2.21	2.21
1987	(第9回)	1.96	0.73	1.31	1.97	2.14	2.18	2.22
1992	(第10回)	1.90	0.69	1.09	1.76	2.15	2.16	2.18
1997	(第11回)	1.84	0.68	0.95	1.61	2.06	2.18	2.13
2002	(第12回)	1.79	0.85	0.96	1.52	1.90	2.17	2.20
2005	(第13回)	1.77	0.84	1.08	1.47	1.85	2.00	2.15
2010	(第14回)	1.71	0.93	1.11	1.36	1.74	1.87	2.01
2015	(第15回)	1.68	0.80	1.10	1.48	1.75	1.78	1.86

国立社会保障・人口問題研究所『出産力調査』、『出生動向基本調査』による。各年6月現在。各回調査とも妻が50歳未満の初婚どうしの夫婦を対象とする。総数は20歳未満を含む。

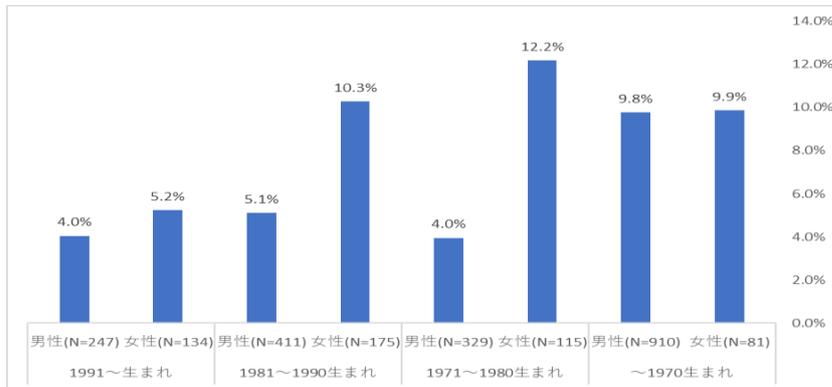
出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2022年版

## 2.5 親学歴

### 父学歴

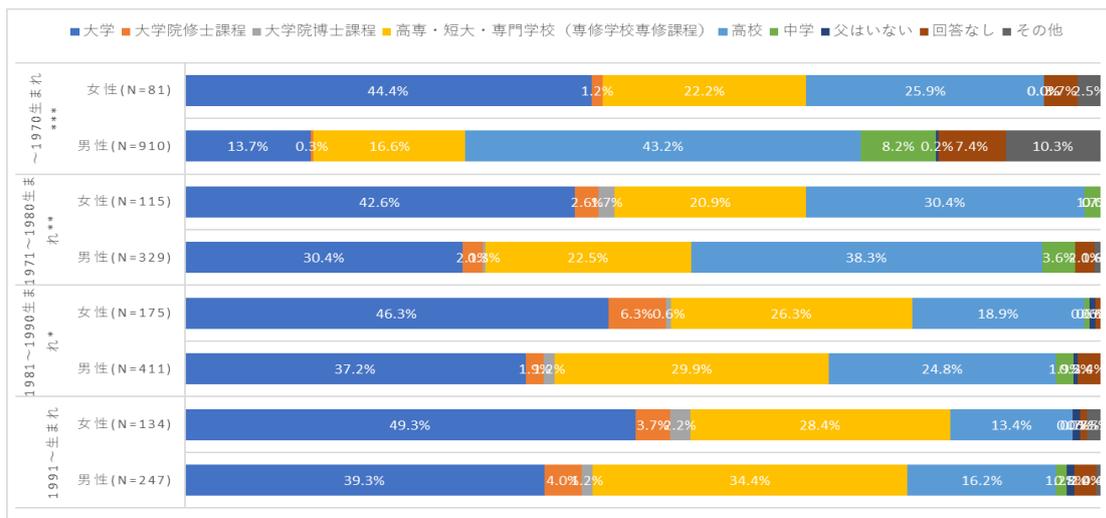


## 父親が東大卒の割合

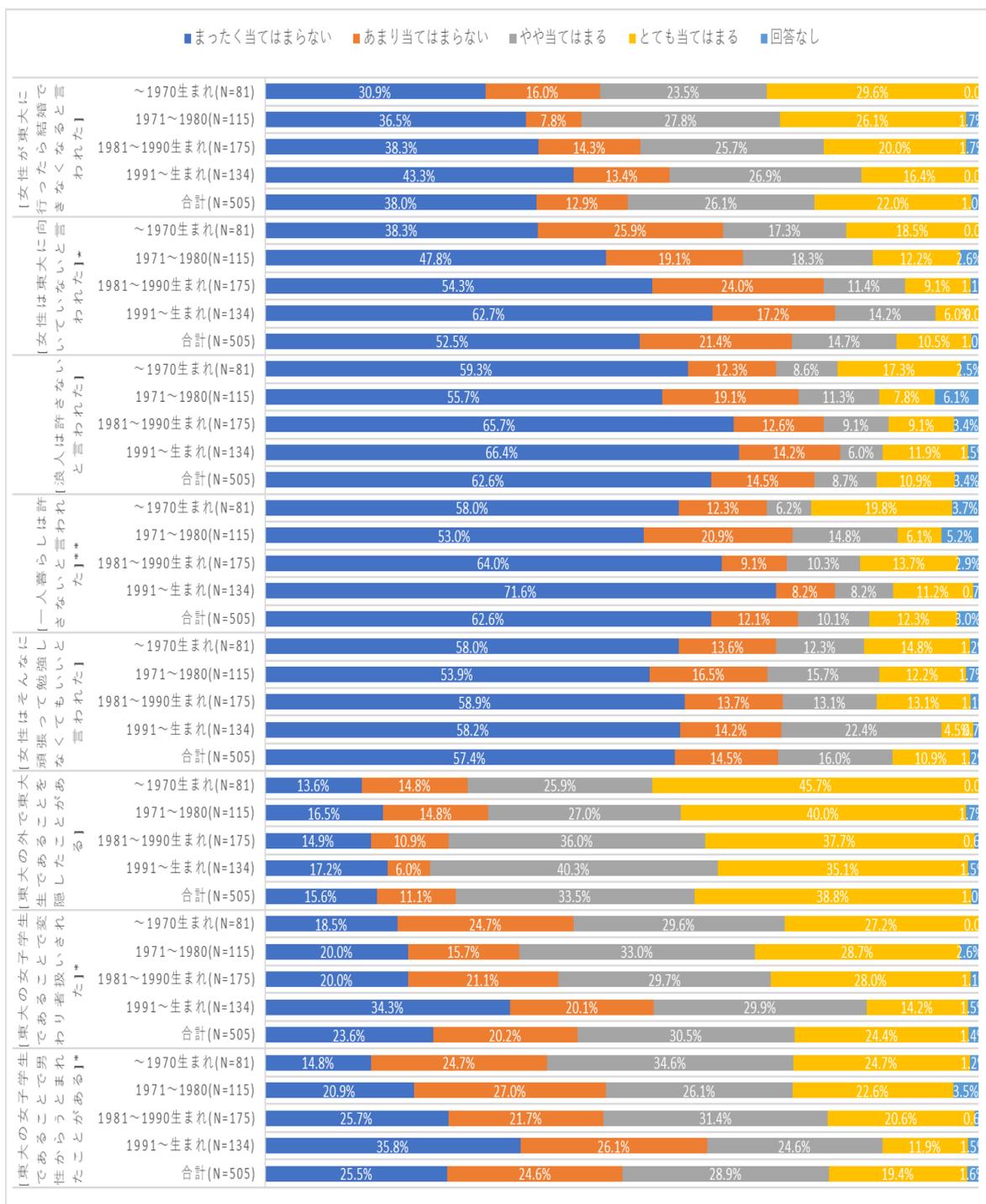


※全回答者のうち父親が東大卒は 7.5%、母親が東大卒は 0.5%。

## 母学歴

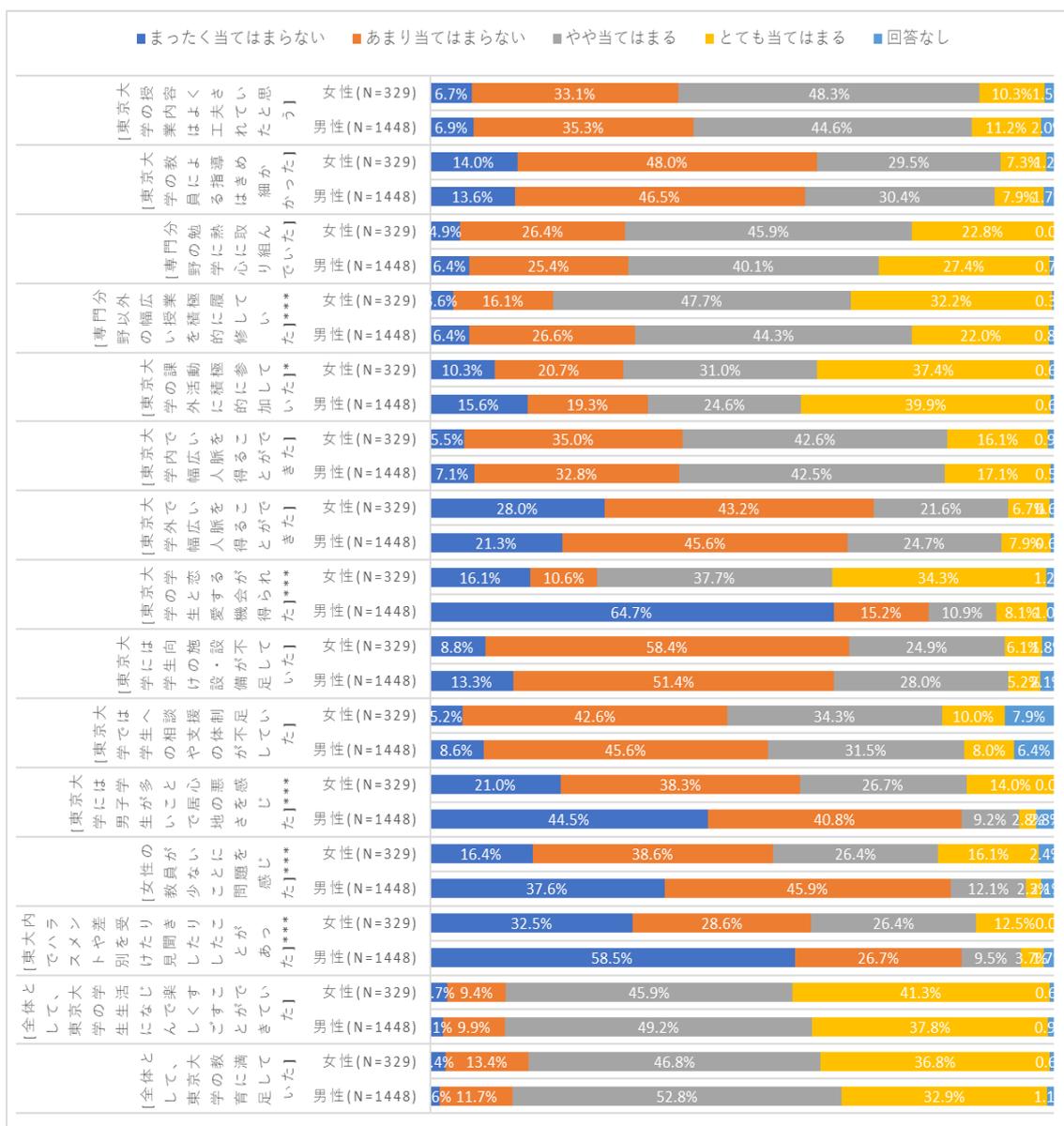


### 3. 女性の経験



## 4. 東京大学での経験

### 4.1 学部での経験



## 4.2 大学院での経験

